

## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場会社名 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 上場取引所 東  
 コード番号 6425 URL https://www.universal-777.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富士本 淳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO (氏名) 麻野 憲志 TEL 03-5530-3055  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	77,142	△17.5	7,802	463.2	△394	—	△6,813	—
2019年12月期第3四半期	93,481	39.5	1,385	—	△6,461	—	△5,736	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 500百万円 (—%) 2019年12月期第3四半期 △2,326百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	△87.74	—
2019年12月期第3四半期	△73.04	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	570,943	370,585	64.9	4,781.96
2019年12月期	573,238	371,834	64.9	4,756.13

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 370,526百万円 2019年12月期 371,766百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	50.00	—	0.00	50.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2019年12月期 第2四半期末配当の内訳 創業50周年記念配当 50円00銭

2020年12月期（予想）期末配当は、未定としております。

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2020年12月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による影響により、通期連結業績に与える影響を算定することが困難なことから、引き続き未定とさせていただきます。今後の動向を見極めながら、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 3 Q	80,195,000株	2019年12月期	80,195,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期 3 Q	2,710,772株	2019年12月期	2,029,172株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 3 Q	77,660,406株	2019年12月期 3 Q	78,530,272株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想について」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 連結業績予想について	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(4) 追加情報	9
(5) 重要な後発事象	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

2020年12月期 第3四半期累計	売上高	営業利益	経常損益	親会社株主に帰属する 四半期純損益
個別 (百万円)	57,515	14,118	5,838	6,648
連結 (百万円)	77,142	7,802	△394	△6,813

売上については、遊技機事業において販売台数が前第3四半期連結累計期間の92,673台から125,325台へ大幅増加する一方、統合型リゾート(IR)事業においては、統合型リゾート施設「オカダ・マニラ」が、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を背景とした、フィリピン政府や、フィリピンカジノ運営公社PAGCOR (Philippine Amusement and Gaming Corporation) の要請に基づき、3月15日より営業を停止し、一部営業を再開したものの、経済活動が実質的に制限された状態が続いております。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は77,142百万円(前年同期比 17.5%減)となりました。営業利益、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失については、当四半期連結累計期間において、統合型リゾート施設「オカダ・マニラ」における営業停止した施設の当該期間に係る固定費(減価償却費等)を6,811百万円販売費及び一般管理費から特別損失に振替したことから、営業利益は7,802百万円(前年同期比 463.2%増)、経常損失は394百万円(前年同期 経常損失6,461百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は6,813百万円(前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失5,736百万円)となりました。

なお、事業セグメント別の業績は以下のとおりであります。各業績数値はセグメント間売上高又は振替高を調整前の金額で記載しております。

2020年12月期 第3四半期累計	売上高	営業費用等	セグメント利益 または損失
遊技機事業	55,553	33,552	22,000
統合型リゾート(IR)事業	20,556	28,180	△7,624
その他	930	742	188
合計	77,039	62,475	14,564

(補足) 統合型リゾート(IR)事業でセグメント損失が大きいののは、ロックダウンにより営業停止した期間の当該期間に係る固定費を特別損失に振替したものの、営業費用の中に含まれる人件費、減価償却費(11,821百万円)が多額なためである。

## ①遊技機事業

当第3四半期連結累計期間における遊技機事業の売上高は55,553百万円(前年同期比 31.0%増)、営業利益は22,000百万円(前年同期比 115.6%増)となりました。

遊技機業界における市場環境は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により変化しました。パチンコホールの集客や稼働は、緩やかな回復基調にあるものの、新台入替に対する慎重な姿勢は依然として続いており、パチスロ・パチンコ機の市場供給は低調に推移しました。

かかる状況下で当社は、市場活性化に向け、パチスロ・パチンコ市場において圧倒的な人気を誇るGODシリーズを用いたパチスロ機『アナターのオット!?は一です』(9月)、パチンコ機『Pアナザーゴッドハーデス ザ・ワールド』(8月)の販売を行いました。なお、両タイトルともに計画販売台数を上回り、好調に推移しております。

## ②統合型リゾート(IR)事業

当第3四半期連結累計期間における統合型リゾート(IR)事業の売上高<sup>(1)</sup>は20,556百万円(前年同期比 58.6%減)、営業損失は7,624百万円(前年同期 営業損失1,835百万円)となりました。また、当第3四半期における当事業の調整後EBITDA<sup>(2)</sup>は△2,758百万円となり、前年同期の9,057百万円から11,815百万円の減少となりました。

統合型リゾート施設「オカダ・マニラ」は、フィリピンカジノ運営公社PAGCOR (Philippine Amusement and Gaming Corporation) が、2020年3月15日に発令したゲーミング事業の一時停止命令を緩和したことを受け、一部営業を再開しております。

また、2020年2月14日付「固定資産売却による持分法投資利益計上並びに営業外収益計上のお知らせ」の件については、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、2020年3月15日にフィリピン政府からの緊急事態宣言

があり、現在そのロックダウン状態は一部緩和されているものの、フィリピン国内で経済活動が実質的に制限されており、

そのような状況の下、上記のプレスリリースに記載した売却先から、売却対象物件の引き渡し及びその決済時期の延長に伴う一定の保証金の提示を含めた書面を正式に受領しました。そこで、当事者間でフィリピン共和国のロックダウンの解除に伴う経済活動の再開を予見し、すでに締結済みの土地売買合意書に関する変更の合意書（仮称）を引き続き検討しております。当該変更の合意書が締結されましたら、改めてお知らせいたします。

- (1) 売上高は、総売上高からゲーミング税及びジャックポット費用を控除したものです。
- (2) 調整後EBITDA = 営業損益 + 減価償却費及び償却費 + その他の調整項目

### ③ その他

当第3四半期連結累計期間におけるその他の売上高は930百万円（前年同期比 19.0%減）、営業利益は188百万円（前年同期比 45.8%減）となりました。

メディアコンテンツ事業においては、App Store・Google Playにて最新機種『アナターのオット!?!はーです』のシミュレータアプリを配信し、有料ランキング上位を維持するなど好評をいただいております。月額会員制サイト「ユニバ王国」では、アプリ化の要望が多かった『やじきた道中記X』のシミュレータアプリを配信いたしました。また、ソーシャルカジノゲーム「スロットストリート」では、国内向けに『沖ドキ! ゴールデンハイビスカス ver.』のビデオスロットを配信いたしました。加えて昨年好評だった株式会社セガ製『セガNET麻雀 MJ』とのコラボ企画の第2弾を実施し、新規会員を多く獲得いたしました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の額は、建設投資に伴う建設仮勘定の増加、持分法による投資利益による投資有価証券の増加、また貸付金の増加等があった一方、現金及び預金の減少、貸倒引当金の増加により、前連結会計年度末と比べて2,295百万円減少し570,943百万円になりました。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における総負債の額は、短期借入金の新規借入があったものの、長期借入金の返済やカジノ関連債務の減少により、前連結会計年度末と比べて1,046百万円減少し200,357百万円となりました。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の額は、円高ドル安・円安ペソ高による為替換算調整勘定の増加があった一方、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純損失計上により減少、自己株式の取得による減少があり、前連結会計年度末に比べて1,249百万円減少し370,585百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

### ①遊技機事業

遊技機業界における市場環境は、パチンコホールの集客と稼働回復の遅れ、風適法施行規則の改正による旧規機経過措置期間の1年の延長が決定されたことなどから、パチンコホールの新台入替に対する慎重な姿勢は今後も続くものと見込まれます。

第4四半期としては、パチンコ機『PAハイスクール・フリースイートでHappy!』の市場導入を開始しております。また、9月に市場導入を開始し、好評を得ているパチスロ機『アナターのオット!?!はーです』の増産も開始しております。

当社は引き続き、より遊びやすく幅広いファンの皆様に楽しんでいただける、独自性のある魅力的な遊技機創出に努めてまいります。またその魅力のある遊技機を通して、遊技機業界全体の活性化に貢献してまいります。

### ②統合型リゾート(IR)事業

統合型リゾート施設「オカダ・マニラ」のゲーミング事業は、PAGCORからの規制緩和により設置許可台数の30%を上限として営業を再開しております。ホテルについては、2020年10月に観光省DOT (Department of Tourism) より、客室数100%での営業再開の許可を得ました。また、飲食事業は、2020年10月2日に貿易産業省DTI (Department of Trade and Industry) より、マニラ首都圏の飲食店での店内飲食の営業活動制限が座席数の50%超まで解除されました。これらの規制緩和による政府のガイドラインを受けて、「オカダ・マニラ」では一部営業を再開しております。

また、新型コロナウイルス感染症の影響は依然終息しておらず、感染防止の観点から衛生管理を引き続き高い水準で維持してまいります。

③その他

メディアコンテンツ事業においては、引き続きApp Store・Google Playにて高品質なシミュレータアプリを配信してまいります。ソーシャルカジノゲーム「スロットストリート」においては、新規性のある魅力的なビデオスロットの開発、サイト内イベントの開催、機能改善、新規機能の追加を継続しつつ、新規ゲームプラットフォームへの展開、ビデオスロットのライセンスアウト等を計画しております。

(4) 連結業績予想について

2020年12月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による影響により、通期連結業績に与える影響を算定することが困難なことから、引き続き未定とさせていただきます。今後の動向を見極めながら、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38,442	30,569
受取手形及び売掛金	11,361	8,914
有価証券	2	2
商品及び製品	1,671	1,774
仕掛品	10,747	11,686
原材料及び貯蔵品	12,981	9,992
その他	10,726	15,572
貸倒引当金	△876	△2,197
流動資産合計	85,057	76,314
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	260,865	261,146
建設仮勘定	66,056	74,781
リース資産(純額)	57,288	56,245
その他	42,404	39,109
有形固定資産合計	426,614	431,283
無形固定資産		
その他	2,357	2,003
無形固定資産合計	2,357	2,003
投資その他の資産		
投資有価証券	14,414	16,275
長期預け金	6,773	6,553
関係会社長期預け金	26,583	25,678
その他	11,712	13,293
貸倒引当金	△713	△725
投資その他の資産合計	58,770	61,075
固定資産合計	487,743	494,361
繰延資産	437	266
資産合計	573,238	570,943

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,279	4,532
短期借入金	6,554	11,155
1年内返済予定の長期借入金	1,204	2,115
未払金	10,734	9,431
未払費用	13,503	16,001
未払法人税等	466	484
賞与引当金	78	282
その他	17,057	13,615
流動負債合計	55,879	57,619
固定負債		
社債	66,745	65,953
長期借入金	9,749	7,827
退職給付に係る負債	251	309
関係会社長期預り金	5,477	5,289
リース債務	58,791	59,897
その他	4,510	3,461
固定負債合計	145,524	142,738
負債合計	201,404	200,357
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	98	98
資本剰余金	18,830	18,829
利益剰余金	365,751	358,937
自己株式	△5,578	△7,317
株主資本合計	379,101	370,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△882	△1,061
為替換算調整勘定	△6,433	1,059
退職給付に係る調整累計額	△18	△19
その他の包括利益累計額合計	△7,335	△21
新株予約権	67	58
純資産合計	371,834	370,585
負債純資産合計	573,238	570,943



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	93,481	77,142
売上原価	45,072	33,135
売上総利益	48,408	44,007
販売費及び一般管理費	47,022	36,204
営業利益	1,385	7,802
営業外収益		
受取利息	142	92
受取配当金	20	16
持分法による投資利益	1,140	1,127
その他	98	86
営業外収益合計	1,402	1,323
営業外費用		
支払利息	2,761	3,152
社債利息	3,970	4,515
為替差損	2,102	1,677
支払手数料	285	18
その他	129	157
営業外費用合計	9,249	9,520
経常損失(△)	△6,461	△394
特別利益		
固定資産売却益	—	7
その他	—	5
特別利益合計	—	13
特別損失		
固定資産除売却損	731	2
臨時損失	—	6,811
特別損失合計	731	6,814
税金等調整前四半期純損失(△)	△7,192	△7,195
法人税、住民税及び事業税	550	455
法人税等調整額	△488	△837
法人税等還付税額	△1,518	—
法人税等合計	△1,456	△382
四半期純損失(△)	△5,736	△6,813
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,736	△6,813

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△5,736	△6,813
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△126	△178
為替換算調整勘定	3,535	7,493
退職給付に係る調整額	0	△0
その他の包括利益合計	3,409	7,313
四半期包括利益	△2,326	500
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,326	500
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結損益計算書注記)

(臨時損失)

当社グループの連結子会社TIGER RESORT, LEISURE AND ENTERTAINMENT, INC.において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を背景とした、フィリピン政府や、フィリピンカジノ運営公社PAGCOR (Philippine Amusement and Gaming Corporation)の要請に基づき、統合型リゾート施設「オカダ・マニラ」における営業停止した施設の当該期間に係る固定費(減価償却費等)を、特別損失に計上したものです。

(4) 追加情報

(借入費用の取得価額算入)

統合型リゾート(IR)事業に要した資金のうち、その建設資金を借入金及び社債(私募債)により調達している長期プロジェクトで、かつ、その金額が重要なものについては、建設期間中に対応する借入費用を取得価額に算入しております。

(5) 重要な後発事象

当社は、2018年12月11日発行の2021年満期米ドル建普通社債6億米ドルの内4億8,200万米ドルに関し、償還期限(満期)が2024年12月11日である新社債へ交換することについて、社債権者と合意しました。当交換の効力発生日は2020年10月29日となります。

また2020年10月16日付の取締役会の決議に基づき、2020年10月29日を払込期日とする社債を以下の条件で発行しております。

株式会社ユニバーサルエンターテインメント2020年追加発行海外私募債

1. 発行総額：1億3,500万米ドル
2. 発行価格：額面価格の100%
3. 利 率：8.5%
4. 償還期限：2024年12月11日
5. 資金用途：一般事業資金